

J R C 部の活動方針



目 標	【JRC 部の年間目標】 ○青少年赤十字の実践目標のもと、生命と健康を大切にし、人間として社会の為、人の為に尽くす責任を自覚しつつ行動に移す事のできる姿勢を養う。 ○ボランティア活動を通して、たくさんの人と交流し、仲良く助け合う精神を養う、生徒が自ら気づき、考え、実行しようとする主体的な態度の育成を目指す。 ○小学校の学童のボランティアや、富屋特別支援学校との交流などを通して、地域貢献や、インクルーシブ社会について学び、考え、行動できる人材育成をする。	
活動方針	【活動方針】 ○生徒の自主性を重んじ、相互理解のうえ、協力して活動できるようにする。 ○生徒にボランティアに対する指針となる考えを持たせて、自分に何ができるのか、何を学びたいのかなど目標を持たせたうえで活動させる。 ○ボランティア活動を通して、生徒の他者理解や、交流する方々との望ましい人間関係の構築をサポートする。 ○活動する場所の環境に留意し、体調の確認や熱中症計の利用、感染症対策を講じ、活動状況をこまめに把握することで、生徒の健康に配慮する。 【休養日】 ○原則として、週に1回、雀宮中央小学校の学童クラブでボランティアをし、富屋特別支援学校との交流会（年1～3回程度）に参加する。その他、校内での募金活動や、青少年赤十字から依頼のあった不定期のボランティア活動での活動日以外。 ○定期試験初日の1週間から定期試験実施期間（最終日を除く）は活動を行わない。ただし、当該期間において交流等に参加する場合は、校長の承認を得て活動することもある。 【活動時間】 ○一日の活動時間は原則として、平日は2時間以内、休業日は3時間以内。	
年間計画	参加予定大会等	その他
4月		
5月		緑の羽募金集計作業
6月	学童ボランティア	
7月	学童ボランティア、富屋特別支援学校との交流会	
8月	学童ボランティア（宇工主催、夏祭りも行う）	
9月	学童ボランティア	
10月	学童ボランティア	
11月	学童ボランティア、富屋特別支援学校との交流会	盲導犬の募金活動
12月	学童ボランティア	
1月	学童ボランティア	寄付用のジャージ回収
2月	学童ボランティア	寄付用のジャージ回収
3月	学童ボランティア	寄付用のジャージ回収



パソコン部の活動方針

目 標	【パソコン部の年間目標】 ○活動をととして、生徒の健全な育成を図る。 ○パソコン甲子園、各種プログラミングコンテスト等での入賞を目指す。 ○各種大会への出場を目指す。 ○パソコン関係の地域ボランティアを計画、実施を目指す。 ○部員全員の学業成績の向上を目指す。	
活動方針	【活動方針】 ○学校生活や授業等に支障のない範囲で、短時間に合理的でかつ効率的・効果的な活動を行う。 ○先輩が後輩の指導ができるよう、技術、コミュニケーション力の向上に努める。 ○体調管理、感染症の感染対策・熱中症予防対策等をしっかり行う。 【休養日】 ○原則として、毎週土曜日と日曜日を休養日とする。 ○大会参加等で日曜日の休養日が確保できなかった場合は、翌月曜日を休養日とする。 ○長期休業中は原則、休養期間とする。 ○定期試験初日の1週間前から定期試験実施期間（最終日を除く）は活動を行わない。ただし、当該期間においても、大会等参加の場合は、校長の承認を得て活動を実施することもある。 【活動時間】 ○一日の活動時間は、平日は2時間程度として18時には完全下校とする。休業日は3時間程度とする。大会等で基準の活動時間を超えて活動する場合には、生徒の健康管理に十分配慮し、1日のうちに休養時間を適切に設定したり、別の日の活動時間を調整したりする。	
年間計画	参加予定大会等	その他
4月		
5月	○中高生情報学研究コンテスト（情報処理学会）	
6月		
7月		
8月	○プログラミングコンテスト（帝京大学）	
9月	○パソコン甲子園予選（会津大学等）	
10月		
11月	○パソコン甲子園本選（会津大学等）	
12月		
1月		
2月		
3月		



音楽部の活動方針

目 標	【音楽部の年間目標】 ○部員全員で一つのものを作り上げる喜びを味わい、創意工夫しながら表現活動を行い、生涯を通して音楽を愛好する心情を育む。 ○部に関わっている人々に感謝をし、礼儀や他人を思いやる気持ちを大切にする心を育む。 ○目標を立てて努力し、楽器の技術向上や精神力の育成を目指す。 ○自らの役割に責任をもち、主体的に行動することに努める。	
活動方針	【活動方針】 ○部活動の実施は、生徒の安全を第一に考えて実施する。休業日等の校舎の出入り及び使用した教室について、施錠確認を徹底する。 ○学校生活や授業等に支障のない範囲で、効率的・効果的な活動を行う。 ○休養日とのメリハリをつけ学習と部活動の両立に努める。 ○室内の部活動ではあるが、熱中症予防対策として熱中症計を活用し、適宜休憩をとり体調管理をする。消毒液の設置や手洗いの励行等、感染症対策にも努める。 【休養日】 ○原則として、毎週1日休養日を取る。 ○8/12～8/16、12/29～1/3は、原則オフシーズンとする。 【活動時間】 ○一日の活動時間は、平日は2時間程度として19時30には下校とし、休業日は3時間程度とする。 ○定期試験初日の1週間前から定期試験実施期間（最終日を除く）は原則として活動を行わない。ただし、当該期間においても、大会等参加の場合は、校長の承認を得て活動を実施することもある。	
年間計画	参加予定大会等	その他
4月		○入学式演奏 ○インタラクティブコンサート
5月		
6月	○宇河地区スクールバンドフェスティバル ○栃木県吹奏楽コンクール高校生の部B部門	○保護者会総会、サマーコンサート ○吹奏楽連盟宇河地区実技講習会 ○野球応援
7月		
8月	○栃木県高校文化連盟総合音楽祭吹奏楽部門 (○東関東吹奏楽コンクール)	
9月		
10月	○宇河地区アンサンブルコンテスト (○栃木県アンサンブルコンテスト)	○校内アンサンブルコンテスト
11月		○雀宮地区収穫祭
12月		○宇河地区アンサンブルコンテスト ○富屋特別支援学校クリスマスコンサート ○第38回定期演奏会 ○栃木県高校文化連盟高校音楽祭 ○実技講習会
1月		
2月		
3月		○卒業式演奏 ○雀宮地区学校音楽祭



科学技術研究部の活動方針等

目 標	【科学技術研究部の年間目標】 ○生徒の安全を第一に考え、部活動中の事故や怪我等の防止に努め、生徒間の話し合いを重視する。 ○高度なもののづくりに積極的に挑戦し、チャレンジングスピリットを養う。 ○イベント等に積極的に参加し、コミュニケーション能力の向上を目指す。 ○生徒自身が考え行動できる「考動力」を身につけさせる。 ○生徒が心身を鍛え、学習意欲の向上や自己肯定感、責任感、連帯感の育成を目指す。 ○部員全員の学業成績の向上を目指す。	
活動方針	【活動方針】 ○生徒の健康管理に十分に配慮する。 ○学校生活や授業等に支障のない範囲で、合理的でかつ効率的・効果的な活動を行う。 ○生徒の創意工夫を生かし、自ら考え行動する活動を行う。 ○生徒同士や生徒と教師等の望ましい人間関係の構築を目指す。 【休養日】 ○日曜日、定期試験 1 週間前から定期試験最終日の前日まで。 ○5 月 3 日から 6 日、8 月 13 日から 16 日、12 月 26 日から 1 月 7 日。 【活動時間】 ○平日は、19 時まで。 ○土曜日は、9 時から 12 時。	
年間計画	参加予定大会等	その他
4 月		
5 月		17 日（土） 南図書館イベント参加 31 日（土） GKN 試走会参加
6 月	21 日 エコマイレッジチャレンジもてぎ大会	
7 月		
8 月		17 日（日） 日光自然博物館イベント参加
9 月		6 日（土） GKN 試走会参加 28 日 宇都宮市もったいないフェアイベント参加
10 月	11・12 日 エコマイレッジチャレンジ全国大会	28 日（日） 三菱 FUSO 試走会参加 5 日（日） 三菱 FUSO 試走会参加
11 月	8・9 日 Ene-1 MOTEGI GP	25 日（土） GKN 試走会参加 （未定）子ども総合科学館イベント参加
12 月		
1 月		
2 月		
3 月		



写真部の活動方針

目 標	【写真部の年間目標】 ○活動をととして、生徒が心身を鍛え、充実した学校生活を送ろうとする主体的な態度を養うとともに、生徒の学習意欲の向上や自己肯定感、責任感、連帯感の育成を目指す。 ○写真撮影をととして、社会的モラル・健全な価値観を養うとともに、社交的なコミュニケーション能力の向上、多様な価値観の相互理解力の育成を目指す。 ○高校総合文化祭 写真展栃木県予選での上位入賞、さらには関東大会への出場を目指す。	
活動方針	【活動方針】 ○部活動実施にあたっては、生徒の安全を第一に考えて実施する。怪我や熱中症等の防止に努めることのほか、天候の急変や下校時の安全確保に配慮する。 ○生徒の健康管理に十分配慮し、適正な休養日と活動時間を設ける。 ○学業を優先し、資格や検定取得に向けた補習に必ず参加する。 ○写真撮影技術向上のほか、撮影するマナーや倫理を学ばせる。 【休養日】 ○毎週土・日曜日を休養日とする。 ○土日に個人撮影活動した者は、月・火曜日を休養日とする。 ○学校休業日は、部活動を実施しない。 【活動時間】 ○通常授業日の活動時間は、授業、清掃終了後からはじめ、16時50分に解散とする。 ○作品印刷でやむをえず時間がかかる場合は顧問が付き添い、極力速く終了させる。 ○午後が放課の場合は、16時を活動終了とする。 ○定期試験 1週間前から定期試験実施期間(最終日を除く)と学力テスト前日は、活動を行わない。	
年間計画	参加予定大会等	その他
4月	○部活動説明会	○部活動案内ポスター掲示
5月		○毎月「今月の一枚」写真を昇降口掲示板に展示
6月		
7月	○校内競技大会記録写真撮影	
8月	○一日体験学習記録写真撮影	
9月		
10月	○南図書館作品展示	
11月	○学校祭記録写真撮影 11/1	
12月	○栃高文連総文祭写真展 12月	
1月	○体育祭記録写真撮影	
2月	○音楽部ファミリーコンサート記録写真撮影	
3月	○関東大会	

書道部の活動方針



目 標	【書道部の年間目標】 ○「書」を通して日本および東アジア圏の文化を学ぶことで、日本文化の成り立ちを理解し、国際社会における日本人のアイデンティティーの確立を目指す。 ○正しく美しい字を書くことを身に付ける。 ○心を落ち着け、書に取り組むことで人間性の涵養をはかる。	
活動方針	【活動方針】 ○生徒の自主性を重んじ、楽しく活動できるようにする。 ○上記の目標達成のため、できるだけ合理的かつ効果的な活動を行う。 ○下野書道展の出品（夏・冬）とギャラリーでの展示を目指す。 ○インタラクティブコートでの書道パフォーマンスを行うことを目指す。 【休養日】 ○週2回を活動日として、それぞれの課題に取り組む。 ○土日の活動は原則的になし。 ○長期休業中も、学期中に準じた扱いとする。 ○定期試験初日の1週間から定期試験実施期間（最終日を除く）は活動を行わない。ただし、当該期間において交流等に参加する場合は、校長の承認を得て活動することもある。 【活動時間】 ○1日の活動時間は原則として、平日は2時間以内とする。	
年間計画	参加予定大会等	その他
4月		
5月		
6月	宇都宮市フラッグアート展	
7月		
8月	下野教育書道展	
9月	宇都宮市立南図書館展示	
10月		
11月	学校祭 雀宮地区文化祭展示	
12月		
1月	下野書初展	
2月		
3月		

生産システム研究部の活動方針



目 標	【生産システム研究部の年間目標】 ○部活動の実施にあたっては、生徒の安全を第一に考えて実施する。怪我等の防止に努め、生徒間の話し合いを重視する。 ○各種大会への上位入賞、さらには全国大会・世界大会への出場を目指す。 ○活動をととして、生徒が知識・技術・協調性を身につけ、充実した学校生活を送ろうとする主体的な態度を養うとともに、生徒の意欲の向上や自己肯定感、責任感、連帯感の育成を目指す。 ○学業成績の向上を目指す。	
活動方針	【活動方針】 ○生徒の健康管理に十分に配慮し、適正な休養日を確保する。 ○学校生活や授業等に支障のない範囲で、できるだけ短時間に、合理的でかつ効率的・効果的な活動を行う。 【休養日】 ○原則として、毎週土・日曜日を休養日とする。 ○大会参加等で日曜日の休養日が確保できなかった場合は、翌月曜日を休養日とする。 ○長期休業中も、学期中に準じた扱いとする。 【活動時間】 ○1日の活動時間は、平日は2時間程度として、休業日は3時間程度（休憩時間を除く）とする。 - 活動はできるだけ短時間で、合理的でかつ効率的・効果的に行う。 ○定期試験初日の1週間前から定期試験実施期間（最終日を除く）は原則として活動を行わない。 - ただし、当該期間においても、大会等参加の場合は、校長の承認を得て活動を実施することもある。	
年間計画	参加予定大会等	その他
4月	OWRO Japan 栃木予選会大会 参加(WRO-ROBO MISSION 班) ○栃木県高校生アイディアロボットコンテスト(アイディアロボット班) ○宇工祭 (作品展示・実演)	
5月		
6月		
7月		
8月		
9月		
10月		
11月		
12月		
1月		
2月		
3月		

茶華道部の活動方針



目 標	【茶華道部の年間目標】 ○日本の伝統文化である茶華道の精神を理解し、日本人のアイデンティティを確立して国際人として活躍できる人材育成を目指す。 ○裏千家茶道点前及び小原流華道の技法を身につけ、茶道と華道を楽しむ心を育む。 ○利休の唱えた「和敬清寂」（「和」：互い同士が仲良くする、和し合う 「敬」：尊敬する 「清」：心の清らかさ 「寂」：動じない心）を常に考え、実行できるように精進する。	
活動方針	【活動方針】 ○生徒の主性を重んじ、楽しく活動できるようにする。 ○上記の目標達成のため、できるだけ合理的かつ効果的な活動を行う。 ○活動場所が狭く、風通しが悪いため、感染症および熱中症予防対策に注意し、生徒の健康に十分配慮する。 ○多くの人に茶華道を理解してもらえよう、修得した技術を披露する機会を設ける。 【休養日】 ○週1回活動し、茶華道講師から技術を学ぶ。 ○土日は活動しない。 ○長期休業中も、学期中に準じた扱いとする。 【活動時間】 ○1日の練習時間は、原則として2時間程度。（水曜日） ○定期試験初日の1週間前から定期試験実施期間（最終日を除く）は活動を行わない。	
年間計画	参加予定大会等	その他
4月	○日光東照宮献茶式奉賛茶会学校茶道席 ○中部地区交流会 ○中央研究会	○宇工祭作品展示
5月		
6月		
7月		
8月		
9月		
10月		
11月		
12月		
1月		
2月		
3月		



美術部の活動方針

目 標	【美術部の年間目標】 ○各個人の表現力を研鑽し、作品制作にあたる。 ○共同制作を通して、他者との相互理解を図る。 ○常に目標・課題を意識してスケジュール管理に努める。	
活動方針	【活動方針】 ○生徒の自主性を重んじ、各人の課題に取り組む。 ○外部の各種コンクールやコンテストに自主的に参加する。 ○宇都宮オリオン通りのフラッグアート参加作品制作に全員であたる。 ○高校美術展に出展を目標に作品制作に取り組む。 ○雀宮地区環境ポスター制作で地域貢献を図る。 【休養日】 ○月曜日、火曜日を休養日とする。 ○土日の活動は原則的になし。 ○定期試験初日の1週間から定期試験実施期間（最終日を除く）は活動を行わない。ただし、作品制作に時間を要する場合は、校長の承認を得て活動することもある。 【活動時間】 ○1日の活動時間は原則として、平日は19時までとする。	
年間計画	参加予定大会等	その他
4月	宇都宮オリオン通りフラッグアート参加	
5月		
6月	（各種コンクール参加）	
7月		
8月		
9月		
10月		
11月	宇工祭	
12月	高校美術展出展	
1月	雀宮地区環境ポスター参加	
2月		
3月		

無線研究部の活動方針



目 標	【無線研究部の年間目標】 ○部活動の実施にあたっては、生徒の安全を第一に考えて実施する。怪我等の防止に努め、生徒間の話し合いを重視する。 ○活動をととして、生徒が心身を鍛え、充実した学校生活を送ろうとする主体的な態度を養うとともに、生徒の学習意欲の向上や自己肯定感、責任感、連帯感の育成を目指す。 ○無線に関する技術力を向上させるために、実戦で技術を使う機会を増やしたり、第 3 級アマチュア無線技士など国家資格を取得したり、講習会を受講する。 ○各種コンテストで入賞を目指す。	
活動方針	【活動方針】 ○生徒の健康管理に十分に配慮し、適正な休養日を確保する。 ○学校生活や授業等に支障のない範囲で、できるだけ短時間に、合理的でかつ効率的・効果的な活動を行う。 【休養日】 ○原則として、毎週土曜日と日曜日を休養日とする。 ○大会参加等で休養日が確保できなかった場合は、翌月曜日を休養日とする。 ○長期休業中も、学期中に準じた扱いとする。 ○8/11～8/18、12/29～1/3、3/29～4/3は、休養期間とする。 ○定期試験初日の1週間前から定期試験実施期間（最終日を除く）は活動を行わない。ただし、当該期間においても、大会等参加の場合は、校長の承認を得て活動を実施することもある。 【活動時間】 ○一日の活動時間は、平日は2時間程度として19時には完全下校とする。休業日は3時間程度とする。練習試合や大会等で基準の活動時間を超えて活動する場合には、生徒の健康管理に十分配慮し、1日のうちに休養時間を適切に設定したり、別の日の活動時間を調整したりする。	
年間計画	参加予定大会等	その他
4月	ALL JA コンテスト参加	
5月		
6月		
7月	全国高等学校アマチュア無線コンテスト参加	
8月		
9月		
10月		
11月	栃木支部 ARDF 競技大会	
12月		
1月		
2月		
3月		

